

日本と世界を揺り動かす物凄いこと

逆境が日本を強くする！
デフレと円高で、
日本経済はさらに強くなる！
政府・官僚・メディアに騙されるな！
日本が生き残るこれだけの理由。



震災後の世界で
日本が劇的に復活
するこれだけの理由。

マガジンハウス
増田悦佐
税込 1,575 円

必ず誰かに話したくなる経済学

AKB48 はなぜ成功した？宝くじをつい
買ってしまう理由、合コンの必勝法、
血液型性格判断はどうして人気？
身近で誰かに話したくなる話題を入
口に、経済がわかるようになる一冊。



テレビやラジオで
大人気のエコノミスト
の最新刊！

PHP 研究所
門倉貴史
税込 1,470 円

セイジ

ひとり旅をしていた僕は、国道沿いの
ドライブインで純粋に生きる男セイ
ジと出会う。「人間って何だ」「人生っ
ていったい何だ」—そんなことを考え
ながらも楽しく過ごしていたある日、
目の前で奇跡は起こった。
奇跡と感動の物語。



2月18日
西島秀俊&森山未來
主演映画が公開!!

光文社文庫
辻内智貴
税込 520 円

最後までわがっていたなら

もし、明日が来ないとしたら、
わたしは今日、どんなにあなたを
愛しているか伝えたい。
子どもを、恋人を、兄弟を、親を…
大切な人を想いながら、
この詩を読んでください。



朝日新聞に
掲載されました。

サンクチュアリ出版
ノーマ コネット マルク
税込 1,050 円



收藏絵画のすべて



ル・ルーヴル美術館 税込 9,030円

年間800万人超が訪れる世界で最も有
名な美術館・ルーヴルの、3000点を超す
永久收藏絵画のすべてを1冊に収録！
ルーヴル美術館公認による国際プロジェク
トだからこそ実現した、美術出版史上比
類なき一冊です。

信頼の監修・解説

ルーヴル美術館が企画・編集・監修に参加。最高の案内人による解説で
鑑賞のポイントを押さえることができます。

最高の画質

ヨーロッパ屈指の美術写真家エリック・レッシングが作品を撮影。

ルーヴル美術館が提供する詳細なデータ

作品すべてにルーヴル美術館が提供した、タイトル・画家名・登録番号・
寸法・画材・支持体・展示場所のデータが記載されています。

全作品収録DVD-ROM(英語版)が付属

本書に掲載された3000を越す絵画すべてが収録されたデータベース
です。画家・コレクション・展示場所ごとに鑑賞することができます。

学校名 _____ 先生名 _____

★オンラインでの注文も可能です★

e-hon → <http://www.e-hon.ne.jp>

e-hon ブックラック



株式会社
ブックス太洋

Tel 099-206-5501 Fax 099-206-5505

ホームページ <http://www.b-taiyo.co.jp/>

アドレス b-taiyo@b-taiyo.co.jp

◆第146回 芥川賞受賞作◆

講談社『道化師の蝶』
円城塔 1,365円



無活用ラテン語で記された小説「猫の下で読むに限る」。希代の多言語作家「友幸友幸」と、資産家 A・A・エイブラムスの、言語をめぐる連環してゆく物語。

2月上旬発売予定。



集英社『共喰い』
田中慎弥 1,050円

女を殴る父と、同じ目をした俺。川辺の町で暮らす17歳の少年。セックスの時に暴力を振るうという父親の習性を受け継いでいることを自覚し、恐れ、おののく…。逃げ場のない、濃密な血と性の物語。第144回芥川賞候補作「第三紀層の魚」も同時収録。

◆第146回 直木賞受賞作◆

祥伝社『蝸ノ記』
葉室麟 1,680円



鳴く声は、いのちの燃える音に似て一。幽閉先での家譜編纂と十年後の切腹を命じられた男。何を思い、その日に向かって生きるのか？命を区切られたとき、人は何を思い、いかに生きるのか？心ふるわす傑作時代小説！

全国書店員が選んだ
いちばん！売りたい本

◆2012年 本屋大賞ノミネート作品発表◆

4月10日(火)
大賞作品発表！！



『偉大なる、しゅららぼん』集英社 万城目学 1,700円

石走に住み続ける日出家と棗家には、代々受け継がれてきた「力」があった。日出涼介、淡十郎、棗広海が偶然同じクラスになった時、力で力を洗う戦いの幕が上がった！

『くちびるに歌を』小学館 中田永一 1,575円

拝啓、十五年後の私へ。中学合唱コンクールを目指す彼らの手紙には、誰にも話せない秘密が書かれていた。アンジェラ・アキさんの歌に鼓舞されて描いた、長編青春小説。

『ジェノサイド』角川書店 高野和明 1,890円

父の遺志を継ぐ大学院生と、一人息子のために戦い続ける傭兵。交わるはずのない二人の人生が交錯する時、驚愕の事実が明らかになる一。

『誰かが足りない』双葉社 宮下奈都 1,260円

予約を取ることも難しい、評判のレストラン「ハライ」。10月31日午後6時に、たまたま一緒に店にいた客たちの、それぞれの物語。

『人質の朗読会』中央公論新社 小川洋子 1,470円

囚われの身となった人々が、遠く、隔絶された場所で語るのは、絶望ではなく生きるための物語。しみじみと深く胸を打つ連作短篇集。



『ピエタ古書堂の事件手帖』アスキー・メディアワークス 三上延 620円

人見知りの激しい古本屋の店主のもとに持ち込まれる、いわくつきの古書。彼女は優れた古書の知識で、謎と秘密を解き明かす。

『ピエタ』ポプラ社 大島真寿美 1,575円

ヴィヴァルディはピエタ慈悲院で〈合奏・合唱の娘たち〉を指導していた。ある日、教え子のもとに恩師の訃報が届く。一枚の楽譜の謎に導かれ物語の扉が開かれる。

『舟を編む』光文社 三浦しをん 1,575円

馬締は、新しい辞書を編む仲間として辞書編集部を迎えられる。個性的な編集部の面々の中で、辞書＝言葉という大海原を航海するための船、を編みはじめる。

『プリズム』幻冬舎 百田尚樹 1,575円

失恋でも、破局でも、死別でもない。かつて誰も経験したことのない、永遠の「別れ」が胸を打つ。いま最も泣かせる作家が書き下ろした、哀しくミステリアスな恋愛小説。

『ユリゴコロ』双葉社 沼田まほかる 1,470円

実家で見つけた謎のノートは、殺人に取り憑かれた人間の生々しい告白文だった。圧倒的な筆力にも心も絡めとられてしまう究極の恋愛ミステリー。